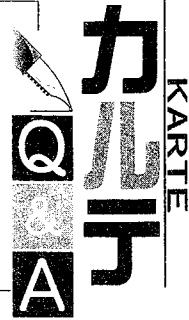


暑い季節の夜、ふくらはぎにほてりと痛みを感じました。何とかほてりは取れましたが、あまりに痛くて内科や循環器内科の受診に加え、専門的な検査も受けました。ですが原因不明のまま。何が原因で、どの診療科に診てもらえばいいのでしょうか。(65歳、女性)

むずむず脚症候群



「むずむず脚症候群」かも知れませんが、夕方から寝静まるころ、ふくらはぎにムズムズするような不快感が現れる病気で、動き回ると治まり、安静にすると再び不快感が生じます。

脚がむずむずする感覚が多いう上に、「足の裏が熱い」も

が、脳や脊髄レベルで鉄の代謝の異常や欠乏が可能性として考えられ、抗うつ剤や吐き気止めの薬の一部が原因になることもあります。妊娠中の人に見られることがあるほか、鉄欠乏性貧血や腎機能障害、パーキンソン病を抱える人に多く現れます。

ることが大切になります。原因になる薬物があるならいったん服用を中止し、原因になる疾患を治療することが基本です。かつては特効薬はなく、眠くなるまで起きるといった方法しかありませんでしたが、最近ではパーキンソン病に対する治療薬や抗てん

ります。治療が遅れると改善することが難しくなることが多く、できるだけ早く脳神経内科の外来などを受診することをお勧めします。

(兵庫県医師会、戸田和夫 明石市、戸田内科・脳神経内科院長)

◇第1、3、4日曜に掲載します。

早めに脳神経内科を受診して

しくは冷たい」「虫がはう」「足に水が流れる」など、さまざまな症状を訴える人がいます。

国内の患者は人口の2〜5%程度と言われますが、不眠症の人のうち約10人に1人にとるとの報告もあります。正確な原因は分かっていません

40代に多く、男性よりも女性の割合が高いようです。中には10歳くらいで見られることもあり、3歳の報告もあるようです。

予防には、夕方以降、カフェイン飲料やアルコールの摂取を控え、睡眠時間を確保した上で適度な運動と入浴をす

かん薬の一部を服用してもらうこともあります。直接効果がある薬もあります。

夕方から寝る前に内服する薬剤が中心で、日中に症状が見られるケースで一日1回、貼り替える貼付剤もあります。脚のマッサージやストレッチなどで改善することもある

相談したい具体的な症状をお寄せください。採用分について医師が紙上でお答えします。〒650-8571 神戸新聞社報道部医療・科学チーム。下記のファクス番号、メールアドレスでも受け付けます。住所、名前、年齢、電話番号をお忘れなく。